

オスロ大学



コンフォート・ゾーン(心地よい場所)からの一歩

国際センター教授 彦谷 貴子

コロナ禍が始まってから約一年半が経ちます。海外への渡航が難しくなり、国内旅行やキャンパスライフにも制約がある中で大学生活を送る皆さんにとって、国際交流、特に日本の外に出ることは想像しにくいかもしれません。英語でstep out of your comfort zone(心地よい場所から一歩踏み出し、新たな挑戦をすること)という表現がありますが、そのコンフォート・ゾーン、自分にとって安心できる心地よい場所が狭くなっていると感じる人も多いのではないのでしょうか。

昨年3月、私はニューヨークのコロンビア大学で教えている時にコロナの感染拡大を経験しました。100カ国以上から留学生が集まる大学でキャンパスが閉鎖される衝撃は大きく、春休み後にオンラインで授業を再開した際は、学生は世界中、全米各地へと散らばり、帰宅できなかった学生は大学周辺でのロックダウン生活を余儀なくされました。誰もが極端に縮小したコンフォート・ゾーンに留まらざるを得なくなったとも言えるでしょう。

コロナ禍は、国と国、人と人との間で、不可逆的に壁を高くするのでしょうか。また、国境を超えた交流が困難になるだけでなく、個人にとってのコンフォート・ゾーンも狭くなるのは、やむを得ないのでしょうか。



2020年秋屋外授業用テント(@コロンビア大学)



2020年秋オンラインと対面のハイブリッド授業(@コロンビア大学)

私は必ずしもそうではないと考えています。

コロナ禍の中、私たちは距離を克服して議論を続ける方法を必死に模索し、その結果、数カ国を繋いだ授業やイベントが普通に行われるようになりました。技術的にはコロナ以前から可能ではあったものの、危機下だからこそ一気に定着しました。同時に、機会を奪われて初めて対面での交流の重要性を痛感した面もあり、今後は複数のチャンネルを通じて世界とつながることが肝要とされるでしょう。一方、コロナウィルスは国境を超えて容赦なく広がったため、世界各国は、国境を管理しつつも長期的には協力が必要であること認識し、その中で日本もより大きな役割を担っていくはず。



皆さんと世界中の若者は、キャリアの起点となる重要な時期にコロナ禍という共通の経験をした仲間です。コロナ禍中の学生生活は制約も多く、苦労を共にした仲間とも言えます。皆さんには、コロナ禍でコンフォート・ゾーンが狭くなったことを受動的に受け止めるだけでなく、その機会を前向きに生かし、世界の仲間たちと様々なつながり方で交流し、共に新しい時代を切り開いて行くことを期待しています。

学習院のキャンパスはとても美しく、私もその心地よさに大きな安らぎを感じています。しかし、皆さんにはこの時代だからこそ、その心地よさ、コンフォート・ゾーンから一歩踏み出す勇気をもって欲しいと心から願います。もちろん、一歩踏み出すかを決めるのは皆さん次第ですが、踏み出してみようと思ったら、ぜひ国際センターにいらしてください。国際センターでは、世界との新しいつながり方を開拓しつつ、留学を通じて世界へ飛び立とうとする皆さんを応援しています。



新たに協定を締結しました

この度、学習院大学では新規にバージニア大学ワイズカレッジ(アメリカ)・トロイ大学(アメリカ)と大学間協定を締結しました。これを機に、本学の海外交流がますます発展していくことが期待されます。

バージニア大学ワイズカレッジ

バージニア大学の一部として創立された公立大学であり、1999年に現在の校名となりました。リベラルアーツカレッジの中では数少ない公立の大学であり、少人数教育や自然豊かで美しいキャンパスを特徴としています。同校とは学生交換協定を含めた協定締結となりますので、今後、学生交換の実質的な交流が期待できます。

- 創立：1954年
- 所在地：アメリカ バージニア州
- 学生数：2,002人(2019)
- 学科等：Business and Economics, Social Sciences, History and Philosophy, Language and Literature, Education, Communication Studies, Natural Sciences等

バージニア大学ワイズカレッジ



トロイ大学

アラバマ州に所在する中規模の公立大学であり、複数のキャンパスを有します。少人数教育を特徴としながらも、80を超える国・地域から留学生を受け入れており、日本の大学とも学生交換の実績があります。

- 創立：1887年
- 所在地：アメリカ アラバマ州
- 学生数：16,970人(2019)
- 学部等：Arts & Sciences, Communication & Fine Arts, Health & Human Services, Education等



海外協定校と協定プログラムによる留学生・派遣学生

令和3(2021)年9月受入の協定留学生をご紹介します!

協定校	受入学生	受入学科・専攻	留学期間
東呉大学 (台湾)	CHEN, WEI QUAN チン イゼン 陳 威全	経営学科	半年間
イーストアングリア大学 (イギリス)	SLATCHER, LIAM CARL スラッチャー リアム カール	日本語日文学科	1年間
イーストアングリア大学 (イギリス)	SCIUREF, ISABELLA MARGARET CONSTANTINA スエーレフ イザベラ マーガレット コンスタンティーナ	日本語日文学科	1年間
オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス)	KATHERINE, AURORA カテリーン オーロラ	日本語日文学科	1年間
オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス)	TOLENTINO, MARIANNE CAMAGAY トレンテノ マリアンヌ カマゲイ	日本語日文学科	1年間
ヤギェウォ大学 (ポーランド)	JASIEŃSKA, KAROLINA ANNA ヤンジェスカ カロリナ アンナ	日本語日文学科	1年間
チュラロンコン大学 (タイ)	RUJAMWONG, SHAMA ルアムウォン シャーマー	日本語日文学科	1年間
香港中文大学 (中国)	YEUNG, CHUEN LUNG ヨー ソンリュウ 楊 尊龍	日本語日文学科	1年間
香港中文大学 (中国)	YANG, NING KWAN ヨー リョーキン 楊 凌鈞	国際社会科学科	1年間
エディンバラ大学 (イギリス)	CESARANO, MORENO セザラノ モレノ	国際社会科学科	1年間
慶北大学校 (韓国)	IM, SEONGMIN イム ソンミン 林 聖旻	国際社会科学科	半年間
トリノ大学 (イタリア)	AMIONE, MATTIA アミオーネ マッティア	日本語日文学科専攻	半年間
ヤギェウォ大学 (ポーランド)	KWASNIEWSKI, RAFAL JAKUB クワシニエスキ ラファウ ジャクブ	英語英米文学専攻	半年間

令和3(2021)年度第2期協定留学プログラム派遣学生

派遣先大学	所属	派遣学生
北京大学(中国)	政治学科	芦川 美奈
慶北大学校(韓国)	政治学科	中島 ち葉
イーストアングリア大学(イギリス)	国際社会科学科	小濱 真由
イーストアングリア大学(イギリス)	国際社会科学科	石渡 麗
イーストアングリア大学(イギリス)	国際社会科学科	佐久間 真鈴
イーストアングリア大学(イギリス)	国際社会科学科	高橋 こすも
エディンバラ大学(イギリス)	国際社会科学科	工藤 桃華
エディンバラ大学(イギリス)	国際社会科学科	浅村 有紀
エディンバラ大学(イギリス)	国際社会科学科	成瀬 悠華
オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)	国際社会科学科	佐瀬 歩実
オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)	国際社会科学科	園田 瑞萌
オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)	国際社会科学科	竹村 夏海
タルトゥ大学(エストニア)	国際社会科学科	荒木 和葉
ヴェリニウス大学(リトアニア)	国際社会科学科	上坊 彩奈
オスロ大学(ノルウェー)	国際社会科学科	友田 輝美
オスロ大学(ノルウェー)	国際社会科学科	辻井 杏
マンハイム大学(ドイツ)	ドイツ語圏文化学科	田岡 咲貴
パイロイト大学(ドイツ)	政治学科	内田 横一郎
リヨン第二大学(イタリア) (フランス)	フランス語圏文化学科	渡辺 諒
リヨン政治学院(イタリア) (フランス)	国際社会科学科	細川 葉奈
ポーロニヤ大学(イタリア)	法学科	縄野 聡太
トリノ大学(イタリア)	経済学科	塩瀬 俊哉



夏季短期研修 実施報告

国際センターでは、毎年夏・春の長期休業期間中に、さまざまな国・地域で短期研修を実施しています。令和3(2021)年度の夏季休業期間中はオンラインによる3プログラムの募集を行い(うち1プログラムは不催行)、19名の学生が参加しました。各研修に参加した学生からの感想を掲載します。

夏季英語研修 <オンライン>

アメリカ・
トロイ大学

<参加者14名>

日程:2021年8月9日(月)
~ 9月10日(金)

※この研修は自身で希望する講座を選び(講座数自由)、オンデマンド配信を視聴し、参加するプログラムです。



遠隔授業ということで当初は不安に感じていましたが、先生方の手厚いサポートのお陰で充実した研修を過ごすことができました。リアルタイムで行われるミーティングや、録画・録音による課題でのフィードバックなどインタラクティブな機会が多く、気軽に質問できる点が良かったです。

ドイツ語圏文化学科4年 西丸 文也さん

内容はライトなものが多く、気軽に英語を学ぶことができ、とても良かったです。

トロイ大学の先生たちとのミーティングは、時差や双方の都合等あるかと思いますが、大学での授業とは違ったより実践的な英語学習に繋がると思うので、もう少し回数が多いと嬉しいです。

canvasは、modulesとassignmentsのどちらをいつ取り組めばよいか少し戸惑うこともありましたが、段々と慣れていくので問題ないと思います。

物理学科2年 高橋 美尋さん

夏季韓国語研修 <オンライン>

韓国・
東国大学校

<参加者5名>

日程:2021年8月9日(月)
~ 8月13日(金)



韓国語文化講義では、受講生のレベルに合わせた講義を受けることができました。オンラインならではのコミュニケーションの難しさを感じながらも、東国大学の学生との交流を通してよりリアルな韓国文化に触れることができ、参加した1週間は大変有意義なものとなりました。

英語英米文化学科 4年 人見彩香さん

夏季英語研修 <オンライン>

アメリカ・
ミズーリ州立大学

本学協定校

日程:2021年8月4日(水)
~ 9月11日(土)

(催行人数に満たなかったため実施取り止め)





チャットルーム2021 ～ネイティブスピーカーと話しませんか?～

国際センターでは、例年、協定・私費留学生など外国語のネイティブスピーカーを交えて外国語で会話を楽しむ「チャットルーム」を、定期的に開催しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインにて実施予定です。本学に在籍する留学生と彼らの母国語で会話してみませんか?

チャットルームでは留学生を交えた3～4人程度の小さなグループに分かれて行います。話のきっかけとなるトピックは国際センターが事前に用意しますので、初めての方も安心して参加できます。

ちょっとだけ外国語を話してみたい、語学学習のモチベーションを上げたい、新たな友達をつくりたい、留学から帰国し徐々に外国人と話してみたい、などなど、参加のきっかけはどんなことでも構いません!

チャットルームを国際交流の第一歩にしませんか?

少しでも興味のある方はぜひ、ご参加ください。

★日頃の勉強の成果をアウトプットしましょう!

★少人数のグループに分かれて行きます。

★たくさん外国語を話せるチャンスです!

★語学力は問いません。

★予約不要・途中入退出可です。



2021年度の開催予定 ※開催時間は原則、12:20～14:30

10月、11月、12月 各月1回

詳細が決まり次第、G-Port・国際センターホームページ・掲示板で公示します。



2021年度留学フェアのお知らせ



国際センターでは、留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談できるよう「留学フェア」を年2回(例年、第1回は6月・第2回は10月、昼休みから3限)、開催しています。(今年度は、オンラインにて実施。事前申込制、通信料は各自負担のこと。)詳細は、国際センターホームページ、G-port及び掲示等で公示します。

留学フェアでは、協定留学経験者による「留学経験談紹介」や「質疑応答」「留学相談」を行います。留学経験者である本学学生が、留学先大学の様子や留学を通して得た貴重な教訓、日常生活から授業の様子までを紹介してくれます。その後、質疑応答や個別の留学相談を行います。

「何故留学しようと思ったの?」「その国を選んだ理由は?」「語学力は通用した?」「授業はどの程度理解できた?」等々、どんな内容でも構いませんので気になる質問をぶつけてみましょう。

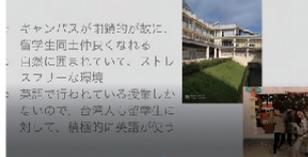
既に留学を決意している皆さんはもちろん、ちょっとだけ留学に興味がある方、留学経験者や留学生と話をしてみたいという方の参加もお待ちしています。

※2021年度第2回の開催については、新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を変更する可能性があります。

寮



淡江大学国際キャンパスの魅力



留学生のためのイベント

留学生歌舞伎鑑賞教室を開催いたしました [霞会館教育助成金事業]

本学では、一般社団法人霞会館のご助成のもと、定期的に伝統芸の鑑賞会を開催し、留学生の皆さんに、日本古来の伝統芸能や文化に触れる機会を提供しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の対策が取られた国立劇場にて、6月19日(土)に歌舞伎鑑賞教室を開催いたしました。留学生19名と国際センターボランティア学生(日本人)数名の計24名が参加しました。



留学生オンラインバスツアーを開催しました

本学では年2回、留学生バス旅行(日帰り)を開催し、留学生の皆さんに日本の文化や自然に触れる機会を提供しています。今年度の春のバス旅行は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、7月にオンラインバスツアーを開催しました。

例年は関東圏内を訪れていましたが、オンラインという機会を活かし、四国香川の金刀比羅宮エリアをバーチャルで散策し、香川名物のうどん切りを体験しました。

高松空港でバスに乗り込んだところからバーチャルツアーが始まり、こんぴらさん表参道の町歩きや、旧金毘羅大芝居(金丸座)を見学、中野うどん学校では事前に送られたうどんキットを使って、香川うどん切りを体験しました。



[写真提供: 琴平バス]



令和3(2021)年度第2学期以降の募集・お知らせ

令和4(2022)年度第2期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度10月中旬より、2022年度第2期協定留学プログラム(留学期間:2022年10月~翌年9月/派遣先:アジア・ヨーロッパ・アメリカ)の募集を行います。

募集要項は国際センターホームページ、G-Port及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。国際センターのホームページでも一部の報告書を公開しておりますので、ぜひご活用ください。

(<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/messagefromsenior.html>「留学した先輩からのメッセージ(留学状況報告書)」をご確認ください)



「留学した先輩からのメッセージ(留学状況報告書)」

令和3(2021)年度春季短期研修の実施について

国際センターでは春季休業期間中に英語や中国語等の短期研修を実施しています。2021年度については、新型コロナウイルス感染症の影響のため、研修先や実施方法(現地又はオンライン)について検討中です。詳細は決まり次第、G-Port・国際センターホームページ・掲示で案内いたします。



海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細・募集要項は、いずれも国際センターホームページ、G-Port、掲示等により確認してください(独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります。詳細は、所属の学部学科事務室にお問い合わせください)。

※①~⑤の内容はいずれも予定です、必ず最新情報を確認してください。

①学習院大学海外留学奨学金

応募条件	「留学願」が承認されて渡航する者
奨学金額	1名につき年間40万円以内(給付)
採用予定数	延べ80名程度
募集時期	年2回(6月、12月)書類審査

2022年度に留学を開始する方を対象とした第1回目の募集(12月)については、募集要項を11月に国際センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です。

なお、本奨学金を受給した先輩方の留学報告書(協定留学・協定外留学)が、国際センターにて閲覧できます。

②学習院大学海外短期研修奨学金

応募条件	夏季・春季休業中に3週間以上の海外語学研修・短期研修に参加する者
奨学金額	1名につき7万円以内(給付)
採用予定数	年間170名程度
募集時期	年2回(9月および2月)書類審査

※今年度はオンライン研修を対象とし、11月に募集要項を公示する予定です。

③学習院大学北米等への留学促進奨励金

応募条件	本奨学金対象の国際センター主催夏季・春季語学研修に参加する者
奨学金額	1名につき20万円以内(給付) オンライン研修の場合は3万円以内
採用予定数	夏季10名・春季10名程度
募集時期	年2回(9月および2月)書類審査

④学習院大学語学能力試験受験の助成

応募条件	留学のための語学能力試験を受験する者
奨学金額	1名につき1万円以内(給付)
採用予定数	年間80名程度
募集時期	年2回(7月および1月)書類審査

⑤大学院学生の国外における研究発表援助

応募条件	海外で開催される研究会等で発表を行う大学院生(共同発表を含む)
奨学金額	1名につき10万円以内(給付)
採用予定数	年間20名程度
募集時期	年1回(4月~翌1月)書類審査



表紙の写真は、2019年11月に締結された協定校のノルウェー・オスロ大学です。2021年後期から初めて本学の学生が派遣されました。コロナが収束し、学生のみなさんが安心して渡航できる日がくることを願うばかりです。

■国際センター運営委員 令和3(2021)年度

運営委員長 ディミトリ・リティシェフ(国際センター所長)

運営委員 庄司 香(法学部)

運営委員 棕 寛(経済学部)

運営委員 平田 一郎(文学部)

運営委員 渡邊 匡人(理学部)

運営委員 山崎 泉(国際社会科学部)

運営委員 三井 清(副学長)

運営委員 村主 道美(学生センター所長)

運営委員 彦谷 貴子(国際センター)

運営委員 杜 長俊(国際センター)

運営委員 杉田 稔(国際センター事務室課長)

October 1, 2021 vol. 48
News letter

発行日/2021年10月1日

編集・発行/学習院大学国際センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/>

(「学習院 IC」などで検索してもヒットします)

<https://www.facebook.com/ic.gakushuin.ac.jp>

※掲載された学生の所属は、令和3年9月15日現在のものです。

※本紙掲載内容は、2021年9月15日現在のものです。